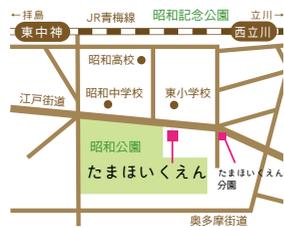


アクセスマップ

「くじらしま」は、昭島市内の以下の4園で開催している地域の子育て支援事業です。

たまほいくえん

〒196-0033
東町 5-1-40
☎ 042-544-1151



なかがみほいくえん

〒196-0025
朝日町 5-4-17
☎ 042-545-0255



イコロ昭和の森

〒196-0002
拝島町 4041-1
☎ 042-545-0156



ミナバもくせいのもり

〒196-0035
もくせいのもり 1-2-25
☎ 042-519-4378



「くじらしま」ではさまざまな支援活動をしています。地域で子育てを行っている方は、どなたでもご参加いただけます。 ※なお、新型コロナウイルスの影響によりイベントや活動を中止する場合がございます。詳細は、右のQRコードより、都度ご確認ください。



【発行】社会福祉法人多摩育児会 〒196-0033 東京都昭島市東町 5-1-39 ☎ 042-519-5597
http://www.tns.or.jp

子育て支援
コンテンツ

イベントパーク（行事体験）

園の行事に参加、体験いただけます

デイリーパーク（体験保育）

親子で日常の保育生活を体験（お子さまの給食有。無料）

子育てワークショップ

ミュージックダンス、わらべうた、食育、子育て広場、子育てサークル

たまごパーク

妊婦さんや0歳児が対象の遊び場。身体測定も実施。

ひよこパーク

在園児以外のお子さまが対象の遊び場です。

育児相談（随時受付）

各園にて受付けています。時間をご相談ください。

園内見学（随時受付）

各園にて受付けています。時間をご相談ください。

一時預かり保育（有料）

地域のお子さま対象です。詳細は各園へお問合せください。

多摩育児会の子育て支援事業「くじらしま」は昭島の子育てを応援しています！

こそだておうえんマガジン

くじらしまだより



もくじ
巻頭特集 | ミナバもくせいのもり OPEN02
おうちでできるシリーズ03
インタビュー04
ほいくの4コマ「虫探し名人」05
子どもと一緒にあそぼう！06

2023 SPRING

4-6月



巻頭特集！

幼保連携型認定こども園
ミナパもくせいのもり
OPEN



やわらかな春風を頬に感じ、子どもたちの笑顔も咲きこぼれる春になりました★

2023年4月に、幼保連携型認定こども園ミナパもくせいのもりが開園いたしました。『ミナパ』とはアイヌ語で『大勢が笑う』という意味です。集う人が笑顔になる場所をコンセプトに地域の子育ての中心地となり、皆様に愛され、集う人々が笑いに溢れる場所になりたいと考え園名としました。

ミナパもくせいのもりは、幼稚園と保育園の両方の機能を併せもち、地域の子育て支援も行う教育保育施設で、0歳児から5歳児のお子さまをお預かりします。法人の教育保育理念とSDGs

を融合した設計で園舎の両側にある園庭が特徴的な建物で、片側は果樹がたくさん植えてあります。子育てひろばが敷地内の別棟にあり、地域の親子がいつでも利用できます。



おうちでできるシリーズ 春をたのしむ 1・2

やってみよう！

1 お家でできるモンテッソーリ バナナを切る



活動する年齢の目安

満1歳から、かつ両手で物を持って歩ける子

準備する物

- ・バナナ
- ・まな板
- ・バターナイフかステーキナイフ、子ども用包丁（刃先が丸い）
- ・バナナを入れるお皿
- ・切ったバナナを入れるお皿
- ・トンゲ
- ・フォーク
- ・おしぼり
- ・道具が入るトレー

切るという動きを通して子どもが上手に手を使えるようになり、料理のお手伝いなどが出来るようになっていきます。また、活動を通して自分や家族のために何かの準備が行えると、自尊心の芽生えを促すことにもつながります。

誰かのために活動すると「ありがとう」をたくさん聞くことができます。そして、人の役にたっている実感がわき、自己肯定感が強い人になると言われています。

手順

- ①手を洗う
- ②使用する道具と手順を紹介する
- ③バナナをまな板の上に置き皮をむく
- ④バターナイフを持ち、片手でバナナを押さえゆっくり切る
- ⑤切ったバナナをトンゲで小皿に乗せる
- ⑥使った道具をトレーに乗せ片づける
- ⑦バナナの入った小皿を机に置く
- ⑧フォークで食べる

食べ物を使った他の活動

玉ねぎの皮むき・オレンジの皮むき（ジュースづくり）・レタスをちぎる・しいたけの石突とり・レモンしぼり・りんごカッター・バターナイフ応用・ゆでた野菜を切る・ゆでたまごを切る など



2 つくってあそぼう！ 双眼鏡の作り方



お散歩に双眼鏡を持って出かけてみてください。

作り方

- ①トイレットペーパーの芯の○の部分にカラーセロファンを貼る
- ②好きな模様の折り紙や包装紙で周りを貼る
- ③トイレットペーパーの芯同士を両面テープで止める
- ④双眼鏡を首から掛けられるようにリボンをつけたら完成！



準備する物

- ・トイレットペーパーの芯
- ・折り紙（包装紙も可）
- ・カラーセロファン（透明のセロファンやラップも可）
- ・リボン
- ・ハサミ
- ・両面テープ
- ・のり





温故知新インタビュー

古きを聞き、新しきを知る
昔と今。変わるもの、変わらないもの

東中神駅の南側、「八清通り」を通過して合流する小さな八差路のロータリーのある「八清」地域。実は、多摩育児会が誕生したのもこの地域の街の発展と大きな関わりがあります。

今回は法人の理事でもあり、長年「八清」地域のまちづくりに尽力されてきた中川昭二先生にお話をお聞きしました。



Q: まずはじめに、中川先生について、そして先生と多摩育児会との関わりについて教えてくださいませんか。

中川先生: 私は1939年(昭和14年)に新潟県で生まれ、26歳の時に昭島市の玉川町にきました。当時は会社員をしていましたが、義父の中川久也が昭島の町議会議員をしていたこともあり、その後、衆議院議員秘書を経て市議会議員になりました。今は議員を退き、多摩育児会の理事をしています。義父は、多摩育児会創始者(初代園長)古屋佐吉郎氏とともに、戦後の昭島の「八清地域」の「まちづくり」の中心的な存在でした。

Q: 「八清」地域のロータリー(写真下)は、八差路になっていて、ユニークな場所ですね。



中川久也



古屋佐吉郎

中川先生: ロータリーが放射状の形をしているのは、歴史的な理由があります。

1938年(昭和13年)、昭島市(当時は昭和村)に大軍需工場「陸軍航空工廠」ができました。日本の軍事産業が飛躍的に発展を遂げた時代です。これに伴い2万余の従業員のための約500戸の住宅、さらには集会所、市場、映画館、浴場、神社、公園などの福利施設の建設が始まりました。1941年(昭和16年)に、ロータリーを中心に放射線状に区画された大規模なニュータウン「八清住宅」が誕生し、その名前は地域開発を担当した八日市屋清太郎氏の名前に由来しています。このロータリーは、八日市屋氏がヨーロッパ旅行での見聞から着想を得たものだと考えられ、当時としては、画期的な街並みだったそうです。

Q: 戦後、多摩育児会が「八清住宅」で「保育園」を始めたのはなぜですか。

中川先生: この後1945(昭和20)年、第二次世界大戦の敗戦と共にこれらの陸軍航空工廠が閉鎖してしまいます。この住宅の居住者全員が一夜にして「職」も「住居」も失うことになったのです。街は当然、大混乱、生活上の苦労は相当なものだったでしょうね。

この状況を見るに見かね、生活設計を立て直すべく働く大人たちが安心して子どもを預けて働くことができるようにと、工員住宅1棟を買って上げて「保育園」を開設したのが、実業家だっ

た初代園長古屋佐吉郎氏でした。1階に「保育園」、2階には駐留米兵相手の商売をしている人のための「英語塾」があったと聞いています。時を同じくして、住民達の「仕事先」と「住宅」確保の問題解決のために、町との払い下げ交渉にあたったのが、当時「八清住宅」の一画でマーケットを経営していた義父久也でした。この二人が出会い、「八清地域」の生活再建と「子育て支援」の第一歩が始まったというわけです。

Q: 中川先生は、久也さんの遺志を継承して、その後市議会議員としての「まちづくり」や、多摩育児会の理事としての「子育て支援」を、今も続けていらっしゃるんですね。

中川先生: はい。久也は人と人との和をモットーに住民生活の安心と安全をはかり、子ども達の健やかな成長を願い「街」の発展に貢献してきました。そして古屋佐吉郎氏は、お互いに信じあい、お互いに譲り合える人と人との和、未来を平和な社会にと考えて行動する「互信互譲」を信念にしていました。どちらも今の時代にも必要な信念です。みなさんの暮らす街や平和な毎日は、こうした先人の苦労や助け合いがあったからなのだとこのことを、当時の面影が残るロータリーを通ったり、「八清の由来」を知ったりして、改めて考えていただくと嬉しいです。

Q: ちなみに中川先生は議員になる前、会社員の頃はどんなお仕事をなさっていたんですか?

中川先生: 実は会社員時代「ブッチンプリン」の開発に携わっていたことがあります。あの「ブッチン」を考えしたのは私なんですよ。

これからも、みなさんと一緒に知恵を絞って、よりよい未来のことを考えたいですね。

4コマエッセイ
日々是保育
虫探し名人

園のできごとを多摩育児会の保育者が4コマまんがでお伝えします!





子どもと一緒に「探求散歩」にでかけよう！

八清住宅周辺お散歩エリア

[八清の由来の碑] 8差路の真ん中に噴水のある八清ロータリー。記念碑には、この地域が「八清」と呼ばれる由来と歴史が刻まれています。



[玉川会館（東部出張所）] 現在の玉川会館は、戦時中は八清住宅管理事務所があった場所でした。



[昭島玉川郵便局] 昭和18年に「昭和福島郵便局」ができました。当時は、金融機関として重宝されたそうです。

今回のお散歩エリアは「八清住宅」周辺をご紹介します。古い写真資料と合わせて、今と昔を比較しながら、街の歴史発見散歩をおたのしみください。[右写真：八清映画劇場] 昭和35年くらいまで、八清住宅には映画館もありました。

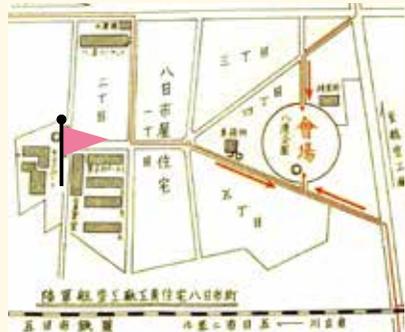


もとは八清神社として八清公園にあったという説もあります。

数少ない現存する戦時中の建物です



[たまほいくえんのあった場所] 新たに開設された保育園として開設当初は、現在の「スーパーマルフジ」の北あたりにあったようですが、昭和25年12月30日の「多摩市場」の火災延焼により保育園も被災。少し北の建物を借り再開。昭和26年、現在地に移転して多摩保育園を開設しました。



今回の記事は、昭島市教育委員会発行「昭島近代史調査報告書VII『陸軍航空工廠と昭島』(右画像)を参考にし、図版も教育委員会からご提供いただきました。八清住宅についてももっと知りたい方は、図書館で閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。



[連載] もっと知りたい！ 「冰山ルリの大航海」

—第1話—
プロローグ



たまほいくえんのロビーの奥には、ギャラリーがあるのをご存知ですか？ここに飾られているフェルトのタペストリーは年長さんによる卒園制作で、「冰山ルリの大航海」という絵本のワンシーンがモチーフとなっています。

この絵本は、北極で2万年も氷床の中にいたルリがやっと冰山になり、「南の果ての氷に会いたい」と、南極を目指す大航海の物語。発表会のミュージカルでも園児たちがこの物語を演じます。ミュージカルの音楽もたまほいくえんの音楽指導をしている藤本先生のオリジナル楽曲です。地球の壮大さ、多様な生き物たちとの出会い、ルリの勇気や友情など、子どもたちの成長の日々にも重なり、タペストリー制作やミュージカル制作を通じて、園児だけではなく大人にとっても、とても大切な物語となっています。次号では、この絵本の画家である飛鳥童先生のインタビューをご紹介します。



作：高円宮妃久子殿下/絵：飛鳥童/出版社：講談社
発行日：1998年9月10日/ISBN：9784062092340

子育てひろば「もも」のご紹介

0歳から3歳までのお子さんとその保護者様がご利用いただけ、親子で自由に遊べる場所になります。子育ての悩みなどを抱えているお母さん・お父さんが息抜きでき、みんなが笑顔になれる暖かい場所です。子育て経験豊富な職員があり、育児等の相談が気軽に行えます。また、他の親子と交流もでき、子育ての仲間を見つけられるかもしれません。昭島市には他にも子育て広場が6箇所あります。詳細はQRコードをご覧ください。

定員：親子10組/場所：昭島市もくせいの杜1-2-28



多摩育児会の子育て支援活動のスケジュールはこちらをどうぞ

子育て支援活動スケジュール紹介します。ミュージックダンス・わらべうた、食育、子育てサークルなどのワークショップを開催しています。

